

第5回推進会議 委員からの意見

①	報告書についての委員からのご意見
1	【子育て支援事業の認知・利用状況】 182 ページの「子育て支援事業の認知状況・利用状況」について、認知度に対して利用率が低すぎる。どれも重要な支援の窓口だと認識しているが、実効性のあるものになっているのか疑問に感じる。 特に P.183 「『利用している』の回答比率の推移」にあるように、今回の調査で顕著に利用が減少している「健康会館（市町村保健センター）の『親と子の健康相談』」に関しては、中心市街地にありながら健康会館へのアクセスが決して良いと言える状況ではなく、サービス対象である就学前児童とその保護者、妊婦については、開催場所へ行くことがかなり困難であると容易に推察できる。開催場所を立川駅から南のエリアにも増やすことを含め、全体的に増加させるべきだと考える。また受付時間も短いため、サービス運営とのバランスを考慮しつつも、受付時間を延長するなど、全体的なアクセシビリティの向上に尽くすべき。
2	【子育ての苦労・楽しさの共有】 245 ページの「お子さんについて困ったり悩んだりしていること」について「子育ての苦労を周囲に理解してほしい」という項目が大幅に増えている。子育ての苦労や楽しさを共有できる場所が今後必要だと感じた。
②	自由意見についての委員からのご意見
1	【自由意見報告書】 多岐にわたって読むのが大変。報告書としてはこれでいいが、これをプランに書き込んでいくには、もう少しコンパクトにまとめてもらいたい。
2	【くるプレ利用時間】 「くるプレの時間を早くしたり遅くしたりしてほしい」とか「夕方の時間が不安」とか。不安がすごくあり、少し前までは地域コミュニティの中でできたことがなくなっている。お金払ってやってもらった方が良くという考えになってきている。PTA もそう。そうになってしまうのいいのかどうかというのを議論していきたい。
3	【自由意見の施策への反映】 もう少し制度の中で整理して、できるだろうけれどもやっていないこと、全く無理なこと、やっているのにやっていないと書かれていることを分けてもらえれば、我々もこうすればできるのではないかというアイデアが出せる。

4	【学校への支援】 46 ページに「学校にマンパワーを集めてほしい」とうご意見があった。ボランティアを活用したり広報活動をしたりして、市として学校をサポートするという方向性を出していただけるといい。 【子どもの意見の反映】 立川には既にあると思うが、中学生・高校生の学校をよくする会議みたいなものを設置して、子どもたちのたまに反映していただくといい。今の立川の教育内容を子どもたちがどう受け止めているのかというのをまとめていければいいと思う。
5	【子どもへの性犯罪】 子どもの性犯罪・被害について、イギリスに DBS という制度があり、日本でも施行される予定になっている。とはいえ今心配している方に対して何かできることがないのかとも思う。 【自習スペース】 図書館を含む自習スペースについて、特に中高生から意見が多かった。私自身柴崎図書館や中央図書館の席数がそもそも少ない上に、大人が子どもの利用すべきスペースに座っているケースがある。大人の利用禁止ということを明示して、違反者にはスタッフが注意したほうがいい。 【相談窓口】 82 ページにあるご意見が鋭いと感じた。子ども家庭支援センター、教育相談、チャイルドラインなどの相談窓口は、相談した先がどうなるのかが、外からは全く見えない。子どもたちにも「相談したところで…」というあきらめがあると思う。「自分からは相談がなかなかできない」という意見もあった。相談するとどう動いてくれて、あなたはどうなるのかということを、大人がきちんと提示できるくらい責任をもって、各窓口を運営する必要がある。
6	【相談窓口】 相談窓口やファミリーサポートなどについて「知っていても使っていない」「登録しているけど利用したことがない」という意見が多かった。また、ひとり親のところでも「他の人と交流をしたくない」という人も多かった。待つという姿勢だけでは届かない支援が多くあるのだろうと感じた。どういう支援が必要かということともに、どう実際に届けていくのかという部分もこの会議で議論をしていきたい。 【図書館】 図書館や児童館など、子どもも保護者も自分が利用しているところには意見が多い。このような意見を運営に取り入れていくためには、ハードルは高いと思うが、運営側にたとえば委員として入っていただいて、一緒に作っていくということが考えられる。 【自由意見の周知】 厳しい意見もあるとともに、79 ページの保健師の方のやさしい言葉に励まされたというような心温まる意見もあった。こういった励みになるようなご意見を、現場の方に何かしらの形で伝えていただければと思う。
7	【自由意見への回答】 自由記述の部分は一つ一つ回答は出るのか。何かを聞く以上はある程度回答が必要。

8	【ターゲットを狙った施策】 どういう立場の人をターゲットにして施策を作っていくのかを具体的にしていきたいと思います。例えば、一時預かりについて意見が多かったが、育児休業中の人は平日なので空いているが、土日は混んでいるから共働きの人は利用できない。誰に対しての何を解消していくのかということブラッシュアップできるといい。 【市民意向調査】 このアンケートについての意見も寄せられていた。例えば、「電子化されていてよかった」「量が多かった」など、次回に生かしていけたらいい。
9	【PTA】 小学校のPTAについて、私は年3,000円程度で活動もさほど大変ではなかった。アンケートを見ると非会員の人にはプリントを渡さない差別があるという意見もあった。会員と非会員にはどのような違いがあるのかが知りたいと思った。
10	【自由意見の周知】 76ページに放課後教室のことを好意的に書いてくださっている方がいて、励みになると感じた。
11	【プランの施策目標】 自由記述について、3ページに示してあるように分類されているが、次期のプランはこの11項目でできあがっていくということでよいか、確認したい。 【自由意見の記載】 自由意見の中に明らかに間違っているような意見もあるが、この形で表に出ることはないと思うけれども…。小学校のスクールカウンセラーによる全員面接というのは、すでに実際にやっている。 【情緒固定級】 また、中学校の情緒固定級はないので、小学校卒業後の行先が難しいということについてご指摘いただいている。そういったところを実現させていくプランにしていきたいと思います。
12	【公園】 公園のトイレについて、幸五公園は男女で分かれていない上に、小便器が外から見えるため、大人でも使いにくい状況になっている。せめて男女を分けていただくと、性犯罪防止にもなると思う。 【病児保育や子育てひろば】 89ページの病児保育について、「利用したい」が4割程度にもかかわらず、「利用できなかった」と答えた割合が多くなっている。 病児保育を使いたい人がこれから増えると、もっと現状が悪化すると感じている。 出産届を市に出した際に、病児保育やひろばの案内をもらえるが、その後の情報更新がない。2歳3歳と子どもが成長した際に、どこに電話をしていいかわからない。#7119の病院案内にかけると、市内ではやっていないので、武蔵村山の病院を案内された。深夜は保護者が不安になるので、そのあたりの補助をしっかりといただけるといいと感じた。

13	【公園】 65 ページの公園について、遊具の多さについての意見が多かった。遊具が小さい子ども向けだけでなく、中高生も使えるバスケットコートをつけてほしいと思った。 大人の喫煙所になっているという意見があったが、そこは改善していくべきだと感じた。
14	【公園・トイレ】 近くのトイレについて何年も要望を出しているが、予算の関係でそのまま。ただ、市からきちんと回答はしてくれているので、来年も出そうという意欲は持っている。バスケットコートについて、市が近くの空き地につけさせてくれと調べに来たが、2年ぐらいその後聞いていない。 【PTA】 PTA はいらないという意見がたくさん出ていたが、私の時代はあって当たり前だった。忙しくて時間がないというのはよく分かるが大変さを減らしながら続けてほしいというのが本音。 【公園の大きさ】 立川市は公園が少ない、小さい公園ばかりというご意見がある。地図上に落として自分でも調べてみたいと思う。
15	【公園】 公園について様々な観点から意見が多かった。公園にすべての機能を期待し、そこに行かないとたばこが吸えない、座る場所がないという感じで、まち自体が貧困になっているのでは。落ち着いて座れるベンチが街中にあればリラックスできるスペースが増えるだろうし。それで公園で元気に遊べる場所もできるかも。そんな観点もこの会議で話し合えるといい。
16	【相談窓口】 相談できる人がいるかというアンケートで「いない」と回答した人が1割もいた。この数字は怖いことで、虐待やいじめにつながったりする可能性がある。子ども家庭支援センターなどの「ある資源」が使われていないということや、必要なところにアウトリーチできていないということが問題だと思う。このアンケートを材料として、どう変えていくのか、支援を潜在的に求めている人にどうアプローチしていけばいいのか、どういう制度があればいいのかということを議論していければと思う。
17	【学業に対する経済的サポート】 東京都福祉局が行う「受験生チャレンジ支援貸付事業」、渋谷区が生活保護受給世帯に対して行う「渋谷スタディクーポン」のほか、多摩市が同様の対象に行う「多摩市スタディクーポン」、国立市が同様の対象に行う「くにたちスタディクーポン」など、自治体が主導して行う補助のほか、民間団体が行うものもいくつか確認できた。立川市も同様の制度を、先行する自治体よりも広い世帯を対象に行うことが重要。

18	【精神疾患のある親へのサポート】 精神疾患の症状の中で子育てを行う親へのサポートについて、希望する声があり必要性を感じた。現状の体制では子ども家庭支援センターなどが相談に応じているが、訪問看護やシッターのような具体的育児サポートなど、踏み込んだアクションも必要。実際に窓口を利用した当事者としては、「話をするだけ」で終わる支援が多いように感じる。精神疾患のある親は、自立支援医療や障害年金、障害者手帳などの手続過程で捕捉することができるため、具体的な施策さえあればいつでも手を伸ばせる状態にある。また精神疾患のある親はその境遇ゆえに孤独を抱えやすく、症状のために虐待（面前 DV を含む）などが発生しやすい傾向にあるとも考えられる。
19	【子どもが自由に過ごせる場所】 結果報告書では、全体として子どもたちが「ゲームやインターネットの利用を含め、自由に過ごせる場所」を求めていることが浮き彫りになった。逆説的に、現在そういった場所がないか、非常に乏しいことを示している。このことから、屋内スペースの確保（なるべく各地域を網羅するように）・充実したネットワーク環境の整備（1 台 Wi-Fi ルータを置いただけでは接続台数上限が足りず、複数回線の設置は必須）・利用環境の保障（「子どものための場所」であると明示）の方策を考える必要がある。
20	【公園】 公園の整備について ・遊具の整備 ・ボール遊び、特に「飛んできて危ない」という苦情に対応するため、バスケットコートなどを設置する場合は高い柵の設置を行う ・見回り（禁煙とされる公園で喫煙をしている大人がいるとの声を受けて。ただしこの時ホームレスの方の居場所を奪うことに繋がってはならないと考えます） ・清掃 公園の整備についてはシルバー人材を活用する
21	【PTA】 自由記述で相当数見受けられた「PTA の廃止（もしくは任意化）」は、行政が働きかけて実現すべき課題
22	【くるプレ・居場所】 自由意見では、くるプレというシステムを評価しながらも、開催頻度や開催時間についてリクエストをするものが多かった。せっかく好評価を受けているものなので、より多く、より長く、開催すべき。子どもの居場所づくりにも直結する。
23	【ホームページ・X】 自由記述の中には「立川市のサイトが見づらくて見る気がしない」といったものがあつた。Web デザインや公式 X のデザインについて改善が必要。「子ども（小学生）のリテラシーレベルでも見やすく、知りたい内容にたどり着ける Web サイトと X の活用」が急務。

24	【相談のあり方】 この相談が何に繋がるのか」を大人が案内できる仕組みづくりが必要。「先の見えるサポート」として、相談するとどんな動きがあって状況がどうなるのかのロードマップを示せるとよい。
25	【自分から相談できない子どもに対して】 自分から相談できない子どもに対しては、普段どのようなチャネルで情報を得ているのかを捕捉し、そこに情報を流すことができれば、今よりは相談のしやすい環境になるのではないか。
26	【いじめ】 いじめはその字面が事態を矮小化していますが、ほとんどが刑法の構成要件に該当する犯罪行為。いじめは犯罪行為であるという認識をベースに考えれば、それを行政が捕捉できないことは致命的である。すべての小中高の現場に「いじめを確認したらそれを行政に報告する義務」を違反に対する罰則を付けて設けるべき。またそれを受けてどう行政が動くかも重要。被害生徒に対する専門的な精神的ケアの保障、警察と連携した加害生徒への制裁・再教育など、さまざまなものが考えられる。
27	【子どもの意見の取入れ方】 子どもの意見・感想を吸い上げる場を増やし、それを尊重し、政策に落とし込む流れが今以上に必要。 【ヤングケアラー】 ヤングケアラーの定義、当てはまった場合の相談連絡先、その先にある支援のプロセスについてまとめた資料を学校現場で配布するなど、踏み込んだアクションが必要。 【自己肯定感と希死念慮】 子どもの自己肯定感が総じて上昇している傾向が報告されたが、全体の3割がまだ自分を好きだと思えない結果であり、決して無視できない。自己肯定のできない子ども、「死にたい」と思う子どもにこそ目を向けてほしい。
28	【スクールカウンセラー】 スクールカウンセラーが有効に活用されているのか。それを示すデータはあるか。
29	【市民意向調査】 アンケート結果は一般公開を予定しているのであれば、子ども向けにわかりやすいデザインでまとめたものを作成できないか。
30	【いじめ】 いじめの防止と早期発見・早期対応について、具体的にどのようなアクションを執っているのか。
31	【保育園】 自由意見の中で、1歳まではこどもと一緒にいたいと考えている方が多いようですが、「保育園は1歳からは入りにくいなど、4月でないと入れない、その後のことを考えると0歳クラスから」等々の話は以前からよく聞きます。また兄弟別の保育園になったり、保育園入園の地域格差なども、何かよい方法はないか。

32	【公園】 公園の遊具やベンチなどの老朽化、ボール遊びの禁止等々同じような考えの方が多い事などは、私が子育てしていたころと同じで変わっていないと思った。
----	--